

事後評価表

様式6-2

技術名 浅層中層地盤改良「サイドプレス工法」	登録 No.
	2019K101

施工内容	
施工年月	R3.7.8～R3.7.31
追跡調査年月	R4.9.20～R5.4.14
発注機関	長岡市土木部
工事名	地建補道改寺第5号 道路改良工事
施工地	長岡市 寺泊夏戸 地内
施工数量	施工本数 210本、施工深度 9.0m



新技術の概要
 本技術は軟弱地盤に対し、水分により膨張・固化する生石灰の性質を利用し生石灰・石膏・高炉スラグ・硫酸化アルミニウムと山砂等を使用して地盤強度を高める工法である。

事後評価結果

比較した従来技術	表層混合処理工法(トレンチャ式)	
項目	評価	評価内容
経済性	◎	石灰系固化材の配合処理が高価だが、材料使用量や仮設備を考慮すると安価となる。
工程	○	1.5～2.0m間隔で施工するため、全面改良に比べて工期を短縮できる。
品質出来形	□	従来技術と同程度
安全性	□	従来技術と同程度
施工性	○	仮設備等が不要なため施工性が向上
環境	◎	・改良後のフケ土(混合土)の産廃処理が生じない。 ・混合水、洗浄水を使用しないため水質汚染が生じない。
事後評価	路面性状に関する追跡調査を実施。結果、異状がないことを確認した。	



(追跡調査) 起点側から望む



終点側から望む



◎: 優れている ○: やや優れている
 □: 従来技術と比べて同程度
 △: やや劣っている ×: 劣っている

活用上の留意点	R5.4時点の追跡調査に基づく結果である。 道路幅員: W=5.0(6.0)m 交通量区分: N1(舗装計画交通量15台未満/日・方向) 供用開始: R3.11
---------	---

新技術問い合わせ先

会社名	株式会社 光建設
所属部課	
担当者	渡辺光雄
TEL	0250-68-5589

※不等沈下:無し 舗装隆起:無し 異常なクラック:無し
 走行性(平坦性):良好